

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和6年1月19日
小樽開発建設部

受賞団体決定！「わが村は美しく－北海道」運動

～小樽ブロックからは優秀賞1団体、奨励賞1団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しく－北海道」運動第11回コンクールを開催し、農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、小樽ブロックからは4団体の応募の中から選考の結果、優秀賞1団体、奨励賞1団体を表彰することを決定しました。

なお、全道では63団体（56市町村）の応募があり、優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することを決定しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村が、より「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年から、2年に1度開催しています。

なお、優秀賞の中から、来年度（令和6年度）の大賞審査により、第11回コンクールの大賞を決定します。

- 1 「わが村は美しく－北海道」運動の概要について 【別紙1】
- 2 第11回コンクールの概要について 【別紙2】
- 3 小樽ブロック受賞団体の活動概要について 【別紙3】
優秀賞・・・美国・美しい海づくり協議会／余別・海HUGくみたい
奨励賞・・・しりべし女子会

※小樽ブロックの表彰状の授与は、随時、各団体を訪問して行う予定です。



【「わが村は美しく－北海道」運動とは】

北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていこう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しく－北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html



【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

土地改良情報対策官 水谷 友和 (0134-23-5127)
土地改良情報対策官付土地改良情報係長 萩中 政貴 (0134-23-5232)

小樽開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



「わが村は美しく —北海道」運動 とは？

【別紙1】



Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることを目指し、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援



「景観」 の形成

【景観】
地域の特色を活かし、生活と生産
に根ざした景観形成活動

魅力ある活かに満ちた 北海道

「地域特産物」 のブランド化

【地域特産物】
地域で生産される農林水産物及び
それらを主として利用した加工品
の生産販売活動

【人の交流】
地域の魅力を高めるコミュニティ
づくりに結びつく都市及び地域内
外の人たちとの交流活動

活発な 「人の交流」 づくり

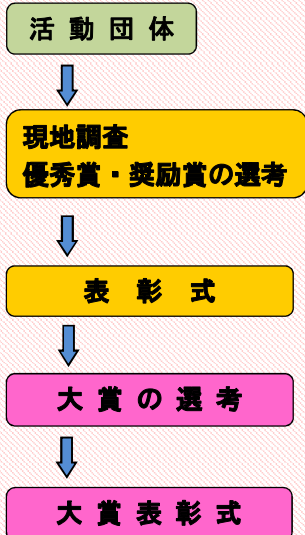
- **参加しよう—中心となるのは、地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げよう—活動の輪を大きく、自由に** 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えよう—北海道の「いいもの」を、もっと外へ** 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

第11回「わが村」運動 コンクール

地域住民の活動を支援する一環として、地域で活動する団体を対象にコンクールを開催しています



第10回コンクール 大賞受賞団体

R5年度



北のなのはな会【安平町】

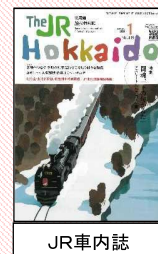
R6年度



ほんべつ豆まかナイト
実行委員会【本別町】

多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_ein/ud49e700000emhm.html
→ 活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→ 活動団体への情報提供
→ 活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
→ 「The JR Hokkaido」への掲載
(JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→ 地域イベントに参加し
団体活動を紹介
- パネル展でPR
(北洋銀行との連携)
- Facebook(フェイスブック)の取組
→ 活動団体の最新情報を広く発信



JR車内誌



札幌大通でのパネル展

Facebookはこちらの
QRコードからご覧頂けます。





令和6年1月19日
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクールの受賞団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成13年から2年に1度コンクールを開催しており、今回で11回目となります。

第11回コンクールには全道から63件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、受賞団体の応募先である各開発建設部において行う予定ですので、詳細については、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問い合わせください。

○第11回コンクールの概要について

1. コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道56市町村から63件（団体）の応募

(2) 審査経過

▶令和5年1月～令和5年6月：募集

▶令和5年7月～10月：全道10ブロック※での現地調査
（ブロック審査委員会による全応募団体の調査）

▶令和5年7月～11月：ブロック審査委員会での審査
（現地調査の結果から受賞団体を選考）

※各開発建設部の所管を1ブロックとしている。

2. 受賞団体について

(1) 優秀賞※（北海道開発局長表彰） [12団体]

※優秀賞：ブロック審査により、活動が優秀と認められた団体を選定。

- ▶ 特定非営利活動法人 山のない北村の輝き（岩見沢市）
- ▶ 元気村・夢の農村塾（深川市、妹背牛町、沼田町、北竜町、秩父別町）
- ▶ にじいろファーム（七飯町）
- ▶ **美国・美しい海づくり協議会/余別・海 HUG くみたい（積丹町）**
- ▶ 名寄市立大学援農ボランティアの会（名寄市）
- ▶ ニサナイ大地の会（むかわ町）
- ▶ 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班（中標津町）
- ▶ 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- ▶ ピロロツーリズム推進協議会（広尾町）
- ▶ 合同会社 びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）
- ▶ フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）
- ▶ 社会福祉法人稚内市社会福祉事業団 就労継続支援B型事業所 稚内市北光園（稚内市）
（受賞団体名は順不同です）

【別紙2】

(2) 奨励賞※（各開発建設部長表彰） [18団体]

※奨励賞：ブロック審査により、将来性や継続性から奨励すると認められた団体を選定。

◇札幌ブロック [3団体]

- ・沼田町産直グループ 愛菜ママ（沼田町）
- ・疏水ほっかい愛護連絡協議会（岩見沢市）
- ・一般社団法人 恵庭青年会議所（えにわハッピーハロウィン実行委員会）
（恵庭市）

◇函館ブロック [2団体]

- ・ハコダテフィッシャーマンズ（函館市）
- ・一般社団法人 福島町まちづくり工房（福島町）

◇小樽ブロック [1団体]

- ・しりべし女子会（後志管内）

◇旭川ブロック [2団体]

- ・辰巳農園（上川町）
- ・JA ふらの女性大学（富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）

◇室蘭ブロック [2団体]

- ・壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合（壮瞥町）
- ・合同会社 自然農業社（壮瞥町）

◇釧路ブロック [1団体]

- ・みんなの景観なかしべつプロジェクト（中標津町）

◇帯広ブロック [3団体]

- ・株式会社 地恵贈（池田町）
- ・北海道本別高等学校 豆乳クレンジングジェル班（本別町）
- ・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班（士幌町）

◇網走ブロック [2団体]

- ・株式会社 滝上町和ハッカ・ラボ（滝上町）
- ・つべつ豆のわ！！プロジェクト（津別町）

◇留萌ブロック [1団体]

- ・乳製品加工研究会「美留来のゆめ」（天塩町、幌延町、遠別町）

◇稚内ブロック [1団体]

- ・北海道豊富高等学校ボランティア部（豊富町）

（受賞団体名は順不同です）



優秀賞



積丹町



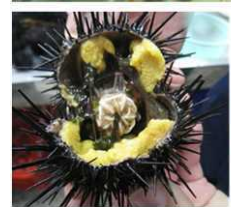
対照区



設置区



B級品



極上品

藻場造成の経済効果 対照区(磯焼け漁場)と設置区(再生藻場)のウニのの実の状態

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体
 美国・美しい海づくり協議会／余別・海HUGくみたい
 【積丹町】

ウニから始まるSDGs～ウニと藻場の循環型再生産システムの実践

【はじまりは？】

積丹町では、町の特産品であるウニが、磯焼け現象により減少していました。積丹町の漁業者で構成されている当組織は、ウニの生産量の減少を食い止めることを目的に、海の森づくり（ホソメコンブの藻場造成）を平成21年度から開始しました。

【おもな活動】

当組織は、ウニの安定生産・供給のため、ウニの餌となるホソメコンブの養殖や廃棄物であるウニ殻を施肥材として利用した藻場再生により、持続可能な漁業を推進しています。

また、水産と畜産の連携の取組として、町内の農業法人が飼育する羊の餌に養殖コンブを与えることで、肉質を向上させたり、積丹町地域活性化協議会が行う海藻などの水産物を利用した商品開発にも協力しています。

漁業と環境保全の理解増進のため、地元の小学生を対象とした体験学習や、町内外の小学生や都市部の一般市民を対象としたセミナーを開催し、これらに用いるプロモーション動画の作成も行っています。



コンブの餌を食べる「しおかぜ羊」



漁業への理解増進活動（ウニ養殖見学会）

【ここが自慢】

ウニ殻肥料による海の森づくりで藻場が再生され、その藻場で育ったウニを漁獲するという「ウニと藻場の循環型再生産」が実現し、ウニの生産量と品質が向上するとともに、SDGsの目標達成にも寄与しています。藻場の保全・創造は、二酸化炭素の吸収源となるため、当組織は「ブルーカーボンクレジット」の取引を行い、得られた資金を藻場造成の拡大に利用することを計画しています。

積丹町では、これらの活動により、「自然、人、産業の和で築くまち」を目指しています。



ウニ殻肥料づくり



ホソメコンブの収穫作業

連絡先

代表者名：白川 浩治さん 澤 貴幸さん
 ／設立：2008年／会員：123名

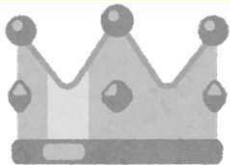
住所：積丹郡積丹町大字美国町字船潤48番地5

電話番号：0135-44-3382

F A X：0135-44-2125

E-mail：nourin@town.shakotan.lg.jp

U R L：



奨励賞

後志管内



ワイワイ楽しく後志の魅力を発信しています(*´艸`*)♡

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

しりべし女子会

【後志管内】

女性目線で、後志の魅力を引き出します



【はじまりは？】

平成28年9月、北海道新幹線の札幌延伸を見据え、道南と青森県の女性で結成された「津軽海峡マグロ女子会」などに刺激され、「後志を元気にしたい女子同士が繋がったら、何か良いことができるのではないか」という考えのもと、後志管内の各地で精力的に活動している女性に声を掛け、しりべし女子会は結成されました。

【おもな活動】

会員(しり女)は、管内各地の観光資源を巡り、地域のお祭り、勉強会、交流会に参加して、自分たちが楽しむ姿を発信しています。

女性目線で、今まで埋もれていた後志の魅力を引き出し、各地のしり女がネットワークを作り、協力して観光案内できる体制を整えるべく活動を行っています。



ラジオニセコの収録風景
「俱知安しり女」はパーソナリティ



寿都町で行われた
手作り味噌の会に参加

【ここが自慢】

民宿経営、カメラマンなど多彩な職種の女性がメンバーとなっており、しり女オススメMAPの作成、農漁男子写真展・しりべし川柳の開催、地元食材を使った商品開発への協力などを行っています。

これらの活動を通して、地域に人を呼び込み、交流人口を増やすことを目指しています。



農漁男子写真展season2に向けて
「寿都しり女」はカメラマン



しりべし川柳を開催

連絡先

代表者名：池本 美紀 さん／設立：2016年／会員：7名

住所：北海道虻田郡ニセコ町中央通139-1-101

電話番号：0135-76-5480

F A X：0135-76-5480

E-mail：info@shiribeshi-jyoshikai.com

U R L：<https://shiribeshi-jyoshikai.com/>
：<https://www.facebook.com/shirijyo/>